



臨床研究部
からの
お便り

新型コロナウイルス感染症ワクチン 安全性調査(COV-Safe)について

第34回

コロナワクチンを安全かつスムーズに接種できるように、三重県予防接種センター(三重病院の中に設置されています)ではLINE公式アカウント「COV-Safe」を開発しました。

- 接種前のリスク評価(受付をスムーズに)
 - 接種後の安全な経過観察(アレルギーなど少し心配がある人は念のために長めの経過観察)
 - 帰宅後の副反応の有無(心配なことがあれば相談センターや「よくある質問」といったサイトに簡単にたどり着きます)
 - ワクチン接種後コロナを予防できているか
- といったことを期待しています。

三重病院は、私が専門としているアレルギーも頑張っていますが、感染症・ワクチン関係で歴史があります。院長の藤澤先生は日本小児アレルギー学会の理事長、副院長の菅先生はAMED研究で「ワクチンの実地使用下における基礎的・臨床的研究及びワクチンの評価・開発に資する研究」の研究責任者、臨床研究部長の谷口先生は長年感染研で勤められた経歴を持つスーパーバイザー、ということで、大きな病院ではありませんが結構いい仕事してます！

その一環として手がけているのがこのCOV-Safeです。COV-Safeに参加すると、調査に協力いただける接種会場で情報収集に同意された方々にはLINEでCOV-Safeと「おともだち」になって、アンケートに回答いただけます。その結果はウェブサイト(<https://sites.google.com/view/cov-safe/>)にリアルタイムに反映されます。

接種された人がSNSなどで自分の症状を中心に話題提供をされると、それが全体に発生していることなのか、

一部に限られたものなのか把握するすべがありません。どうしても全体のデータをしっかり確認してから報告すると、個人の情報だけが先走ってしまう傾向にあります。COV-Safeが上手くいけば、例えば接種翌日にちょっと気になる症状が出る人が多くて、痛みがそこそこ強い人が1/3くらいあるけれど、ピークはそこまでで接種2日後には大分よくなるよ、ということがわかります。もしこういう結果だとすると痛みが強かった人にとっては「痛かったー、腕が上がらないー」となっても自分は1/3の方に入ったんだな、翌日には軽快するだろう、と冷静に受け止めることができます。

現時点では三重県の医療従事者の接種のときに協力を仰いでいく予定にしていますが、上手くいけば高齢者の接種→基礎疾患、一般の方の接種、のときにも利用いただけたらなと思っています。ウェブサイトを是非ご覧いただいて正しい情報を知っていただき、ご自分が接種されるときに「COV-Safeのご案内」があればご協力ください！(アレルギー疾患治療開発研究室長 長尾 みづほ)

通所支援事業の ひとコマ

せつぶん

2月と言えば、「節分」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。

2021年の節分は、2月2日だったのをご存知でしたか?「節分は2月3日!」と疑わなかった私は、今年が2月2日になるとは、全く考えも及ばず…でした。スーパーのチラシやニュースで、その事実を知り、驚きました。では、なぜ2日になったり、3日になったりするのでしょうか。

国立天文台によると、2日が節分になるのは1897年以来で、124年ぶり?!とのこと。ちなみに、3日以外の節分は、4日だった1984年以来とのこと、さらに驚きです。

立春、夏至、冬至などは、地球が太陽の周りを公転する周期から決められるそうです。しかし、公転周期は365日より約6時間長く、うるう年を設けてもズレが解消できないため、それぞれの日付は年によって前後するらしいのです。では、次の節分が2日の日はいつかご存知ですか?国立天文台暦計算室によると、次に節分が2日になるの

は2025年のようです。意外と近い?!と思ったのは、私だけでしょうか。

今年は話題いっぱい!の節分ですが、もちろん、通所支援事業でも節分をしました。段ボールで作ったオニめがけて、豆(お手玉)を投げましたが、なかなか当たりません。通所支援事業の利用者さんは、みんな優しい!!ので、豆(お手玉)を当てようなんて…といった様子です。それでも、少しずつ軌道修正し、オニに当てていました。「やったー!」「鬼は外!」と張り切っていたのは、職員の方だったかもしれません。利用者さんたちは、ニコニコほほえましく、ノリノリの職員に付き合ってくれていました。

まだまだコロナの終息はみえません。それでも、感染対策をしながら、季節の行事にも取り組み、楽しいことをいっぱいしたい通所支援事業です。楽しいことをいっぱいして、免疫力アップ?!(主任児童指導員 丸澤 由美子)

